

科目区分	研究科目		
授業科目名	腎泌尿器科学		
担当者名	羽瀨 友則	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	カンファランス室(附属病院2階)
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		

授業の概要・到達目標

授業の目的:腎泌尿器科学では、腎、副腎、尿路を含む後腹膜臓器と生殖器を扱い、これらの臓器の機能や病態、診断、治療に関わる以下の講義、研究指導を行う。とくに泌尿器科腫瘍学と腎移植・臓器移植免疫学の研究を進めるうえで必要となる知識、実験や学会等での発表、論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。

授業の到達目標:泌尿器科腫瘍学や腎移植・臓器移植免疫学など、泌尿器科学に関連した研究成果を論文としてまとめ、作成し、学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位取得を目標とする。

授業の概要:

1. 泌尿器悪性腫瘍(腎細胞癌, 尿路上皮癌, 前立腺癌, 精巣腫瘍)の発生や進展メカニズムに関わる基礎的ならびに臨床的背景の解明。
2. 泌尿器悪性腫瘍に対する標準的な診断・治療の理解と新たな診断・治療の開発。
3. 腎移植における急性・慢性拒絶のメカニズムの解明と予防・治療法の開発。
4. 泌尿器腹腔鏡手術やロボット支援手術に代表される低侵襲性を目指した治療法とその評価法の開発。
5. 泌尿器悪性腫瘍や腎移植における薬剤遺伝学, 薬剤疫学, 遺伝子解析結果も加味した個別化治療の開発。
6. 泌尿器悪性腫瘍進展のメカニズム解明と診断や治療の標的分子同定のための分子生物学, 動物実験学的手法の理解と習得。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

羽瀨 友則, thabuchi@doc.med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。最新の論文やガイドライン、知見をもとに講義をすすめるので、教科書や参考文献の指定はないが、PubMedなどのチェックをこまめに行うこと。

科目区分	研究科目		
授業科目名	産婦人科学		
担当者名	寺田 幸弘	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		

授業の概要・到達目標

授業の目的:研究を進めるうえで必要となる、実験や学会等での発表、論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。

授業の到達目標:作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位取得を目標とする。

授業の概要:産婦人科学とは配偶子(精子卵子)から誕生、思春期、青年期、壮年期そして老年期と女性の一生のすべてをカバーする幅広い学問である。本科目ではそれらすべての「命の流れ」を理解するために産婦人科という視点からの講義と実習を行う。

1. 配偶子形成からの着床までのヒト始まりのメカニズムを理解する。
 2. ヒト不妊症例での上記1.での機能不全と現在の医学が対応できる治療法(不妊症治療)の可能性と限界
 3. 着床から出産までの周産期学の概要と現在の周産期医学の可能性と限界
 4. 思春期から老年期までの女性の健康を管理する「女性医学」の概説
 5. 婦人科臓器に発生する悪性疾患とその治療法の把握
- 以上に関して系統的に講義および実習を行う。実習に関しては個人の希望も考慮するものとする。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

寺田 幸弘, teraday@doc.med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。